

令和5年度 第6回 石岡市総合計画審議会 会議録

1 会議の名称

令和5年度 第6回 石岡市総合計画審議会

2 開催日時

令和6年1月 25 日(木) 午前9時 30 分から午前 11 時 00 分

3 開催場所

八郷総合支所1階 101・102・103 会議室

4 出席者氏名

別紙「令和5年度 第6回 石岡市総合計画審議会出席者」のとおり

5 議題

(1) 石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

- ① パブリックコメントの結果について(資料1)
- ② パブリックコメントを踏まえた計画案の修正について(資料2)
- ③ 石岡市総合計画第 2 期基本計画の答申について(資料3)

(2) 今後の総合計画の進捗管理体制について(資料4)

6 会議内容

【次第1】 開会

事務局

これより、令和5年度第6回石岡市総合計画審議会を開会いたします。

本日の会議の出席委員は 18 名であり、本審議会条例第 6 条第 2 項に規定する定足数を満たしておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。また、会議につきましては、石岡市総合計画審議会傍聴要綱に基づきまして公開とさせていただきます。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

【次第2】 会長あいさつ

会長

いよいよ大詰めとなる。皆様のご議論をよろしく願います。

事務局

それでは、議事に入りたいと思います。これ以降の議事につきましては会長にお願いいたします。

【次第3】 議事（1）石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

- ① パブリックコメントの結果について(資料1)、
- ② パブリックコメントを踏まえた計画案の修正について(資料2)

会長 初めに、総合計画第2期基本計画の策定について議題とする。前回までの会議で各政策目標について、皆様からのご意見を踏まえ、パブリックコメントを実施している。本日はその結果と最終的な計画案を議題としている。事務局より資料1及び資料2について、関連資料も含めて一括して説明をお願いする。

事務局 石岡市総合計画第2期基本計画（案）について、令和5年12月25日から令和6年1月14日の期間でパブリックコメントを実施した。募集に際しては、12月15日号の市報に掲載したほか、LINE、Facebook、旧TwitterであるX、メールマガジンにより広く周知し、窓口に設置した意見箱への投函、いばらき電子申請を活用した応募フォーム、メール、FAXにより意見を受付。結果として、6名の方から、合計32項目についてご意見をいただいた。各意見に対する考え方や回答について、資料1にまとめている。

ご意見については、資料中4列目の内容（要約）に記載している。ご意見に対する考え方は、資料中の意見区分の欄にあるように、大きく3つに分類。ご意見に対する回答を資料の真ん中の列に記載しており、一番右の列には、実際に計画案への反映内容を記載。本日は、このうち、意見区分「ア」の「計画案に意見を反映するもの」を中心に説明する。

はじめに、1ページ目の2番、多く予算を配分している取組等については、石岡市の強みとしてPRし、人口減少対策などに関連付けるべきであるとのご意見をいただいた。計画策定の方針として、策定開始時より、人口減少対策については、注力していくものと定めていた。各分野の施策展開をリードする事業を位置づけた「リーディングプロジェクト」を毎年度作成しており、このリーディングプロジェクトにおいて、人口減少対策プロジェクトを位置付けることで、第2期基本計画の計画期間内で注力していく取組を明らかにする。

ここで、人口減少対策としての位置づけについては、参考資料として、令和6年度のリーディングプロジェクトの作成イメージをご覧いただきたい。1、2ページでは、総合計画およびリーディングプロジェクトについてご紹介をしている。2ページ目にあるように、人口減少対策プロジェクトを含めて、合計6つのプロジェクトを推進することにより、各分野の施策展開を、効果的効率的に実施する。各プロジェクト名称の右側に記載しているものが、このあとのパブリックコメントでのご意見でもご説明するが、ブランドメッセージを活用したものであり、サブタイトルのような形で位置づけることで、各プロジェクトをイメージしやすく、親しみやすいものとした。なお、チャレンジする市役所プロジェクトに関しては、行財政改革大綱としての位置づけであることから、ブランドメッセージは記載しないものとす

る。資料3ページ、4ページは、実際に各プロジェクトの内容を紹介するページとなっており、令和6年度の各事業を今後記載する。

次に、3番、総合計画と一体化した「地方創生 石岡市総合戦略」について。人口ビジョンの実現に向けた位置づけであることから、計画内でも人口ビジョンに触れるべきであるとのことご意見をいただいた。人口ビジョンに関しては、平成27年10月に策定し、その後、令和2年3月に改訂している。その中では、人口目標として、2060年に人口6万人を維持していくと設定。前回の審議会でもご意見をいただいております。総合戦略の主目的として、地方創生が掲げられていることから、人口ビジョンに関して、総合戦略内に項目を設けて記載することとした。

次に、4番、社人研の推計が令和5年12月に公開されていることから、最新値へと修正すべきであるとのことご意見を踏まえ、計画案に掲載しているグラフを差替えている。なお、これまでの社人研による本市の人口推計は、2050年に45,563人となっていたが、最新の推計では、2050年に49,199人と改善されている。全国的に人口減少が進む中ではあるが、推計が改善されている要因としては、外国人住民の増加によるものと推察している。本市のみではなく、全国的に改善傾向にあるものであり、また、別の推計で、2060年には人口の1割が外国人になるというものもある。現時点では、あくまで、考えられる要因として捉えているので、今後、この内容に関しては、引き続き調査研究を行う。

次に、5番、各指標で用いられている「累計」という考え方が不明であるとのことご意見を踏まえ、原則、事業開始時点からの累計である旨の説明を、ページ構成の説明の中に付記。

次に、2ページ目、7番、ブランドメッセージを有効活用すべきとのことご意見を踏まえ、リーディングプロジェクトにおいて、ブランドメッセージを有効活用するものとした。具体的には、先ほどの参考資料でも示したとおり、各プロジェクトのサブタイトルのような形で、それぞれのブランドメッセージを追記する。

次に、8番、情報発信の手段としてInstagramの整理が必要であるとのことご意見を踏まえ、計画内に文言を追記する。合わせて、Instagramのフォロワー数を参考指標として追加。

次に、10番、令和4年度に新たに整備された「さとのひろば」に関してご意見をいただいた。基本施策「公園・緑地・自然環境の維持整備」の現状・これまでの取組の中で、追加で記載している。なお、屋内遊具施設に関しては、ご意見としていただき、今後の施策展開の参考とさせていただく。

次に、3ページ、12番、基本施策「学校教育環境の整備・充実」に関連して、複式学級の解消に向けた成果指標についてご意見をいただいた。計画案では、令和9年度までに小学校の複式学級を解消していく指標を設けている。詳細な内容については、関連する計画として、石岡市小中学校統合再編計画内で明記しているが、文科省や県の方向性などを踏まえつつ、本市の方向性としては、多様な学習活動や集団活動の展開を図るため、複式学級の解消とよりよい教育環境の整備を目指しているところ。複式学級の解消に向けた考え方として、現状・これまでの取組で整理する。

次に、4ページ、15番、同じく、基本施策「学校教育環境の整備・充実」に関連して、教職員の時間外勤務の目標値についてご意見をいただいた。令和4年度の実績を踏まえると、目標値が消極的ではないかというご意見。こちらの指標に関しては、すべての学校で月35時間以下ということを目指している。一方で、あわせて実施していく部活動の地域移行などや働き方改革などとおして、引き続き、教職員の時間外勤務に対する検討を進める必要がある。今回の計画では、ご意見を踏まえつつ、すべての学校で取り組むということがわかるよう、指標内容を修正し、月35時間以下を目指すものとさせていただき取組を推進する。

最後に、4ページ、24番、基本施策「農業の振興」に関連して、市内における新規就農者の研修施設として、「やさと菜園株式会社」の位置づけもするべきではないかとのご意見を踏まえ、現状・これまでの取組に記載した。以上の項目について、計画案に意見として反映させていくものとして整理している。

資料2では、これらのご意見のうち実際に修正したものを添付している。

簡単に上からご紹介する。まず1ページ目では、社人研の推計に基づき、記載のグラフを最新のものとして修正した。2ページ目では人口減少対策に関連してリーディングプロジェクトの中で、人口減少対策プロジェクトを新たに位置付けている。その他、それぞれのプロジェクトにおいてブランドメッセージを追加したもの。4ページ、各基本施策の説明のページでは、累計による数値の説明を記載のとおり修正した。5ページ、シティプロモーションの推進では、Instagramのご意見により明記。7ページの下段では、Instagramのフォロワー数として指標を新たに追加した。8ページ、公園緑地自然環境の維持整備の中では、先ほどご紹介した八郷総合支所敷地内にあるさとのひろばについて、現状これまでの取組で整理している。9ページ、学校教育環境の整備充実では、現状これまでの取組において、複式学級の記載を修正させていただいた。多様な学習活動や集団活動の展開を図るため、複式学級の解消と、よりよい教育環境の整備を目指して、学校の統廃合を進めていく。小学校においては、令和6年4月の統合により、4校で複式学級が解消する。10ページ、下段の参考指標では、教職員の時間外勤務について修正。11ページ、農業の

振興では、現状これまでの取組で、朝日里山ファーム、ゆめファームに加えて、やささと菜園株式会社が運営する慣行栽培等の農業者を含めて、県外からの出身者が多く、人口減少対策にも寄与していると追加した。最後に 12 ページ、総合戦略のページでは、人口ビジョンを新たに追加。社人研の推計、国ビジョンを踏まえ石岡市の人口ビジョンとして、2060 年に 6 万を維持するという、過去の審議会でもご紹介した内容について、こちらに改めて記載。以上が実際に修正したページの内容。説明は以上とする。

会長 ただいま事務局よりパブリックコメントの結果についての説明あった。合わせて最終的な計画案の修正。パブリックコメントの結果を踏まえた計画案の修正部分などについて意見等あればよろしく願います。

委員 単純なミスかと思うが、資料 1 の 3 ページの 13 番、回答欄の下から 2 行目、中学校各学年 2 学級以上となる 9 学級以上となっているが、6 学級の誤りではないか。

事務局 失礼した。6 学級の誤りであるので、訂正させていただく。

委員 パブリックコメントに対して意見区分をアイウと設けている。調整した結果での区分と思っているが、アイウにした理由を説明していただきたい。

事務局 他のパブリックコメントの方法を準用している。パブリックコメント自体は、どのような意見もお受けするというスタンスであり、事務局で検討して、アイウのいずれに該当するか、それぞれの項目に沿って判断している。

委員 私の質問が悪かったか。アイウの判断基準というか、市の中で議論した上で、どのような意見は計画に反映するものとしたのかなど、基本的な考え方を教えてほしい。

事務局 それぞれの意見は多様なものなので、判断基準を設けるというよりは、個別に総合的判断をして、庁内における総合計画策定委員会等での審議を経ながら区分けしている。

委員 具体的に、例えば、1 番目の質問ではイ「意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの」に区分しているが、どうやって推進するかコメントはない。前から申し上げているが、期間もないし誰がやるのかもなし。反映されたものについての意見があると思うが、市として、重要な指摘なので、すぐにでも反映するものはア、意見としてはわかるが、予算も含めて難しいというものはウであるとか、そういう説明

をしていただけるとありがたい。どういう論議を経てこういう結果になったか伝わってこない。今後については、例えば、イの意見については、こういう関係者と議論してイにした、などの説明があるとよい。これ以上言っても難しそうなので意見として言わせていただく。

委員 資料1、4ページ目、15番の教職員の時間外勤務について。時間外勤務が月平均35時間以内の学校数の割合を指標としているが、学校数で平均すると、学校の中で負担が大きい人と、時間外が該当しない人とが平均されることとなり、教職員個人として差がでてしまうと考える。できれば学校数ではなく、教職員個人で見ることで、実態が見えてくると思った。

事務局 こちらの指標を最初に設定したのは、全体として、職員の時間外勤務の平均を求めることになっていた。パブリックコメントで時間外勤務の指摘があり、全体という部分が不明確であったため、学校数ごとの平均と見直しをかけている。しかし、先ほどの委員からのご意見のように、教職員の中でも個人によって差があるということもその通りであるため、記載の内容は再度検討させていただきたい。

委員 リーディングプロジェクトの人口減少対策プロジェクトについて。上げ足を取るようになって申し訳ないが教えていただきたい。人や企業が躍動できる場を構築することが必要とあるが、どういう意味か。市が企業を指導するのか。躍動とは。

事務局 リーディングプロジェクトとして企業誘致も含んでおり、働ける場を創出するという意味合いもある。加えて、男女共同参画の推進やワークライフバランスの推進をとおして、働く人が躍動できる環境を整備していくという趣旨。

委員 市が企業を手助けするのか。

事務局 企業誘致の推進という取組は、産業プロモーション課で実施している。男女共同参画については、来月、企業向けの「くるみん」や「えるぼし」認証のセミナーを開催する予定。そのような取組により、企業の働き方改革を支援したい。

委員 もっとわかりやすく説明してほしい。企業誘致と言っているが、いつまでに、どんなふうにするのか、出していただきたい。よろしく願います。これらに対して、計画がどうなっているか。それが人口減少の手助けになるということを書いてほしい。具体的に、我々にも伝わるようにしてほしい。市が取り組んでいることが非常にわかりにくい。そのような説明では危機感が伝わってこない。市は一生懸命やっているかと思うが、私たちに分かりやすいように書いていただきたい。

- 事務局 リーディングプロジェクトの記載でいうと、令和6年度の実際の実取組をライフステージごとに記載し、事業の説明や予算額等を含めて、様々な事業取り組んでまいること示したい。
- 委員 過去の審議会で、石岡市は非常に交通の便がよいことから、石岡市に居住して、例えばつくば市や土浦市に仕事に行くという形もあるという意見があった。それに対して、市としての取組は何かやっているか。非常に重要なことである。そのような意見をもう少し取り入れたらどうか。
- 事務局 公共交通の充実について、施策の中に取り込んでおり、担当課では今年度、地域公共交通計画の策定に取り組んでいる。整合を合わせながら、総合計画としても位置付け、方向性として明記している。総合計画は、これまで何度か話をしているが、それぞれの政策や施策の方向性を示すもの。個別事業については、総合計画という兼ね合いで、なかなかお示ししにくい。詳細は、関連の個別計画として記載されていく。また、リーディングプロジェクトには令和6年度に実施する取組を今後記載していく。現在、まだお示しできる状態にはないが、令和6年度予算編成をした上で、皆様にわかりやすく示していきたい。
- 委員 資料2の1ページや2ページに記載があるが、「平成17年」など、和暦を基本として書かれている。皆さんにもお伺いしたいことで、自分もそうであるが、和暦ではイメージしづらく、わかりにくいのではないかと。
- 会長 日本だけが、役所の文章は元号を使う。国でも西暦も記載するようになってきた。以前にも話があった内容である。検討していただきたい。
- 委員 人口減少対策プロジェクトについて、わかりやすい内容でよいと思う。お願いになるが、各ステージにおける石岡市の支援のレベルが、全国の自治体でどのぐらいの位置にあるか記載していただきたい。自治体の中でも上位にあるのであれば、ストロングポイントとして記載してもよいのではないかと。そのあたりを意識して、今後の資料作成を行っていただきたい。
- 会長 相対的な実現については、ぜひご検討をよろしくお願いする。いただいた意見については、事務局で取りまとめていただきたい。

【次第3】 議事（1）石岡市総合計画第2期基本計画の策定について

③ 石岡市総合計画第2期基本計画の答申について（資料3）

会長 続いて、本日お配りしている資料3、第2期基本計画の答申について、事務局に説明をお願いします。

事務局 資料3「第2期基本計画の答申」についてご説明する。

パブリックコメントの結果と、本日のいただいたご意見を踏まえて、最終的な計画案を策定し、令和5年3月23日に行われた諮問に対して、本審議会から石岡市長への答申を行っていくことになる。日程については記載のとおり、2月1日を予定している。答申の方向性としては、これまでご審議いただいた内容を加味して、9つの政策目標ごとに項目出しをする。また、資料1ページの中段にもあるように、人口減少・少子高齢・関係人口増加への対策をより一層注力すること、デジタルの力を最大限発揮していくことなどの諮問内容を踏まえた答申を行うことになる。

2ページ目以降、具体的な答申案について、これまでの皆様からのご発言、ご審議内容を踏まえて、政策目標ごとに項目を記載した。政策目標1「情報発信」については、主な項目として、市内外への情報発信、SNS・動画の活用、デジタル技術の活用、ターゲットの明確化、インバウンド強化を挙げている。「文言」の欄に記載の内容については、実際に答申内容として落とし込むものとして想定している。

政策目標2「歴史・観光」については、主に文化財の利活用、景観保全、観光振興、移住情報のPRを項目として挙げている。政策目標3「安全安心」については、防災体制の強化、防災備蓄、防犯対策、政策目標4「都市基盤・環境」については、公共交通、乗合いタクシーの強化、太陽光を項目としている。

3ページ、政策目標5「健康・福祉」では、産科、健康寿命、フレイル予防、生活困窮者の自立支援などに関するご意見を踏まえた。政策目標6「子育て・教育・学び」では、結婚支援、子育て支援制度のPR、母親同士の交流、ネットワーク化、教職員の働き方、学校設備の充実、コミュニティスクールを挙げている。政策目標7「産業・経済」については、企業誘致、創業支援、就職支援、耕作放棄地、農地の維持。

4ページ、政策目標8「地域・文化」では、協働の場づくり、コミュニティの形成、文化芸術に触れる機会、政策目標9「チャレンジする市役所」では、デジタル技術の活用、DXの推進、ふるさと納税、公文書の適正管理を項目している。

これまでのご意見やご審議内容を踏まえて項目出しをさせていただいたものについて、実際の答申内容として取りまとめ、本審議会から、石岡市長への答申を行う。説明は以上とする。

会長 　　ただいま事務局より答申案が示された。ご意見を願います。

委員 　　政策目標5の健康・福祉で、意見として。分娩可能な産科も必要であるが、高度医療への対策も必要である。脳梗塞や心筋梗塞など、石岡では、土浦協同病院か水戸の済生会病院になる。どちらも1時間くらいかかる。できれば、石岡市内でも高度医療を受けられる病院があるとよい。自分が病気になったときに病院に行けないということで転出される方もいる。そのようなことも目指してほしい。

委員 　　2月1日に市長に対して答申をするということだが、具体的には、どのようなものが資料として、答申されるか。

事務局 　　答申当日の対応だが、本日の案を踏まえて、答申書という形でまとめさせていただく。あわせて、計画案の完成版と一緒に添付することで、これまでのご審議内容を踏まえて、総合計画審議会として計画案を策定したというところでの答申をさせていただく。

委員 　　今日の資料としてある答申書案のようなものが市長に出されるということでしょうか。

事務局 　　資料の1ページ目に令和4年1月24日付基本構想等について（答申）を抜粋して記載している。このようなイメージで政策目標ごとに文章を作り答申としていく。

委員 　　そうすると資料2ページ目以降にある政策目標ごとの記載内容がこのまま答申内容となるか。

事務局 　　表の右側にある「文言」の欄の部分を本日のご意見を踏まえて一部修正して、政策目標ごとの内容として記載する。

委員 　　審議会の中でいろいろ出た意見が「文言」の欄に記載されていると理解した。そういう理解でよいか。

事務局 　　そのように記載している。

- 委員 私が答申を受ける立場であれば、例えば、わかりやすい情報発信に努めていくことという意に対して、具体的にこういうプロジェクトでこういう施策を盛り込んでいる、あるいは盛り込んでいないということも含めた答申の仕方をしていただきたいと思い、質問をした。この「文言」の欄だけであると、そういう意見があったということで終わってしまう気がした。具体的なプロジェクトや施策が織り込み済み、あるいは織り込んでいないということを、きちんと市長に伝わるようにしていただきたい。
- 事務局 答申書としては、本日の案をもとに記載しつつ、実際にこれまで委員の皆様のご意見を踏まえて作成した計画案の冊子を合わせて添付する。現状課題を踏まえて、どのような取組をやっていくかについては、計画案を見ていただいて、市長はじめ、各担当課まで示していくということで全体を整理している。
- 答申については、あくまでも、審議会からの意見を市長にお伝えするというのが目的となる。そのため、審議会での意見を答申書としてまとめ直した形としている。意見を踏まえた取組などについては、作成した計画案に反映しているということで、市長に報告するものになる。
- 委員 意見とプロジェクトや施策がきっちり関連づけられる答申をお願いしたい。答申内容は我々委員に共有されるか。
- 事務局 もちろん答申内容については後程、皆さんに共有する。
- 委員 政策目標7、産業・経済について、企業誘致ということが書いてある。今、市役所や議員も活動されていると思うが、現状どうなっているのか。進捗率はどうなっているか。
- 事務局 進捗率という形では、お示ししにくい部分。現在新たな工業団地の可能性について、様々な調査を行い検討している。
- 委員 非常に苦労していると思う。私は1年ほど前から質問している内容だが、皆さんは1年以上前から取り組んでいる。何をどうしたっていうのが、こちらには見えない。企業誘致の取組に対して、今の回答では全くゼロ。1年経ってもゼロである。計画になっていない。考えていただきたい。答申案はうまい形でまとめていると思う。しかし、項目だけ挙げて進捗率がないことが悲しいこと。目標管理になっていない。いつまでに誰がどうするか、はっきりしていただきたい。

- 委員 政策目標6、子育て・教育・学びについて。母親同士の交流というところで、出産や子育てで母親が孤立しないように、母親同士のネットワーク構築を支援するとあるが、母限定にしていることに対して何か理由があれば教えてほしい。
- 事務局 審議会の中でのご意見として、母親同士のコミュニケーションを市としても支援していく必要があるということをおっしゃっている。母親のみではない部分もあるので、ご意見を踏まえつつ、修正させていただきたい。
- 委員 よろしく願います。母以外の保護者の方が孤立しているということもPTAで話に上がっていた。
- 委員 基本計画に関する答申ということで、資料を作成していただき、皆さんの意見をいただいた。政策目標1から9まであり、それぞれに、概要をまとめていると思うが、ここにある政策目標に定められているものすべてが市役所の中の重要なものとなっている。
- 例えば、健康管理、出産の内容であれば、福祉を所管している保健福祉部以外の部門でも関係がある。現実問題として、基本計画が答申され、市の職員が見たときに、中心の所管課は一生懸命見るが、それ以外の所管課はあまり関心を持たないのが現実。
- それぞれの政策目標の具体的な項目があり、担当課も決まってくる。それに付随するものとして、例えば、政策目標5、健康・福祉で、昨年の審議会の中で、石岡市は健康寿命の数値がよいという話を聞き、12月の定例会の一般質問で、これに関する質問をした。健康寿命を延ばす施策としては、保健福祉部が関連するが、それ以外の部分で、教育委員会として運動施設の利用環境も整えていく必要がある。どうやら今回の予算では、そういったところに教育委員会は関心を持っていないことがわかってきた。
- 細かい部分まで委員からの提案意見をまとめ、計画案を作成しており、これを活かせばよいまちが作れるが、職員側も同じような意識を持っていただきたい。自分の所管以外でも関連する業務があるということを、きちっと役所の職員に周知していただきたい。わかっていない方もいる。
- 事務局 これまでの計画策定にあたっては、庁内の部長級で構成されている総合計画策定委員会でも、様々なご意見を受けながら進めてきた。また、総合計画に関する職員向けの研修などを行っており、庁内でも周知を図っている。担当する部分以外の周知も重要となるので、ご指摘いただいた部分を踏まえて、研修等も含めさらなる周知や取組を継続する。

- 委員 よろしく願います。本来周知しなくても職員はわかっていないとまずいと思っている。ただ現実にはそれができないのであれば、きちんと職員研修などを行い、自分の所管以外の部分でも総合計画に関連している部分があるという点を踏まえて、業務遂行していただきたい。
- 委員 細かい指摘だが、教員という言葉と教師という言葉が混在しているので統一した方がよい。
- 委員 石岡は歴史がすごいと言われている。駅にも 150 年の歴史を誇る石岡市へようこそと書いてある。市のホームページには書いてあるが、私自身も 150 年の歴史がよくわかっていない。石岡市を歩きたい、おまつりに行きたいがどうすればよいかといろいろ聞かれる。今度、市内で食の祭典も行われる。他市の人から聞かれたときに、説明できるような、小学生に聞かれてもわかるようなもので PR できるものをお示しいただきたい。
- 先ほど総合病院の話があった。お金がかかることで、大変だと思う。11 月の連休中に高熱が出た際に、どこの病院に行けばいいのわからなく、玉里の病院にいったが、そういうときは遠慮しないで第一病院などに行けばよいと教えていただいた。市内に総合病院があれば、市民も迷うことなくそこへ駆け込める。現状では、いくら急いでも協同病院まで 40 分くらいかかる。お金がかかることだがお願いしたい。少しでも進歩していると市民も安心する。昨日知事にお会いして、現状維持は後退だと言われた。一步でも前進してほしい。
- 委員 政策目標 3、安全・安心については、市民の方でも重要に感じている方が多い。「文言」の欄の記載では、市民の自助や共助を促すという文書になっている。行政の取組に対する意見もあったかと思うので、表現してはどうか。
- 政策目標 9、チャレンジする市役所の 1 行目に人口減少「化」とあるが、人口減少「下」ではないか。
- 委員 先ほど、横断的に取り組むという意見もあったが、1 ページ目、令和 4 年 1 月 24 日の答申内容の中の 4 番に、「あらゆる主体と協働して」という文言がある。これの推進にあたり、実際に取り組むべき主体に対して、総合計画をいかに周知し、協働してまちづくりをしていくかということが非常に大切である。何かしらの形で広報にも取り組んでほしい。
- パブリックコメントの中でも農業の振興の項目が多く挙げられている。関心が高いと認識する。農業の振興に向けて思いを強くしたい。商業であれ工業であれ、自分事として、この内容を考えていくようなことができるとよい。

委員 政策目標9、チャレンジする市役所のデジタル技術の活用について、石岡市役所では生成AIはどのように使われているか。

事務局 生成AIについての石岡市での取組については、情報政策課を中心として取り組んでいる。本格的な導入というところまでは至っていないが、どのような形で、行政として有効活用できるかに対して、全庁的に取組を進めている。引き続き進めていきたい。

委員 デジタル化について。かつて市の情報部門にいた。当時、役所の情報処理は、大型のコンピューターで、住民情報、個人住民記録を広く利用して、国保税や各種証明に反映させたり、納付書を作成したりしていた。膨大なデータを一括処理する。逆に言うと、個人情報をも民間に出さないという仕組みの中で作っている。

デジタルをどういうふうを活用して役所の業務をしていくべきか。役所は住民情報系の情報と、観光情報や農業分野などの外に積極的に出す情報を全く別の世界に切り分けている。しかし、市役所の中で現在行われるのは、情報政策課で、ほとんどデジタル化の業務を進めている状況。私としては、できれば積極的に外へ出していくような情報展開のもの、また、新しいものについては、本来市長公室の企画部門でやるべきと考える。情報部門を2つの課に分ければよいとの意見もあるが、現在の情報部門は、コンピューターのマシンルームがある地下の狭いところで勤務している。新たに積極的に情報を発信し、活用するときに執務室内に収まりきらないこともある。現実問題として捉えると、別な組織をきちっと創る方がよい。

総務省でもDXを進めていて、どんどん補助金を出している。去年10月には、総務大臣がつくばで講演会もしていた。情報政策課の情報を守るというような部分に一元的に仕事が集中している状況。先ほどおまつりの話もあったが、今年のおまつりが始まる前日、石岡市のホームページでは、おまつりの情報が更新されていなかった。指摘をしたが、そういうレベルである。

今回、総合計画で素晴らしいものを作ろうとして取り組んでいるが、これを実現するためには、組織、人のレベルをしっかり管理していただかないと難しい。市長公室にぜひお願いしたいが、総合計画を踏まえて、これに合わせた組織、今の時代があった組織に、どんどん変えることが必要。4月には組織機構改革があるが、残念ながら今回の総合計画とマッチした組織改革にはなっていないかと私は思う。具体的にはまだ示されていない。時間かかるかもしれないが、総合計画を作っている事務局の職員として、そういった視点で、役所の中を改革していただければありがたい。よろしく願います。

委員 政策目標7、産業・経済の中の農地の維持について。「文言」に記載の内容だけでは、農地はどんどん荒廃していく。果樹やお米などの農作物がある中、石岡市ならではのブランド品として育成していく必要がある。農業で儲からないと、農地の

維持はできない状況である。農業のブランド化を進めて石岡ならではの農産物を推進していくことを加えてほしい。

副会長

ブランドメッセージで「あなたの〇〇があるまち いしおか」については、〇〇の部分に言葉を入れていくということで、わかりやすくよいと思う。

1日には能登で大震災が起こった。太平洋側でも起こることは昔から聞いている。石岡は防災に強いまちであるが、消防団に入って活躍する人員が減少している現状のようである。女性の消防団の組織があちこちで立ち上がっているということも聞く。いざというときに、自助、共助、近助、公助ということで、地元での助け合うことが大事であるが、消防団という、私たちが何かあったときに頼りにするような組織の強化も、市として取り組んでいただきたい。震災はいつ来るかわからないが、日頃から対策が必要と考える。石岡市の対策として一步踏み込んで取り組んでいただきたい。

会長

ただいまの意見は、事務局で取りまとめをお願いします。事務局から説明があったとおり、総合計画審議会からの答申を行うことになる。本会議を代表して、会長である私が答申を行うが、内容につきましては、ご一任ということでよろしいか。

委員

(異議なし)

会長

そのようにさせていただく。お示ししている答申案に本日のご意見を踏まえ、修正した上で答申を行う。

【次第3】 議事(2) 今後の総合計画の進捗管理体制について(資料4)

会長

最後に、今後の総合計画の進捗管理について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料4、総合計画の進捗管理についてご説明する。資料中1番にあるように、総合戦略については、第2期基本計画と一体化されることになる。2番にあるように、現行の計画においては、総合計画、総合戦略それぞれの会議において進捗管理をしている。実際に、本会議においては、基本計画における各指標の進捗管理や事業評価等に関してご審議をいただくことになる。また、ふるさと再生会議では、総合戦略のKPI等の評価を実施している。

総合戦略の内容を含めて、令和6年度からの新たな計画における各取組の進捗管理は、総合計画審議会において、一本化して実施していくことになるのでご報告させていただく。説明は以上。

会長 総合計画の今後の進捗管理については、事務局の説明のとおりということだが、これに関してご質問などあるか。

(質疑等なし)

会長 それでは以上で議事を終了とする。ありがとうございました。

【次第4】 閉会

事務局 ご審議ありがとうございました。今後の計画策定までのスケジュールをご報告いたします。本日の最終審議を踏まえ、総合計画審議会からの答申を行います。答申の結果と、最終的に完成した計画については、委員の皆様にも送付させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、第2期基本計画の策定にあたりまして、これまで、委員の皆様には、様々なご意見等をいただき、誠にありがとうございました。これからも本市の取組に対して、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、令和5年度第6回総合計画審議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。